

〈 2012年3月期 第3四半期決算 参考資料 〉

<単位>金額：億円、台数：千台、比率：％

	2011年3月期 第3四半期累計期間 (2010.4.1~2010.12.31)	2012年3月期 第3四半期累計期間 (2011.4.1~2011.12.31)		2011年3月期 通期実績 (2010.4.1~2011.3.31)	2012年3月期 通期予想 (2011.4.1~2012.3.31)			2012年3月期 前回通期予想 (2011.4.1~2012.3.31)
		増減	増減率		増減	増減率		
売上高	11,746	10,294	△ 1,452 △ 12.4	15,806	15,000	△ 806 △ 5.1	14,800	
国内	3,498	3,375	△ 123 △ 3.5	4,673	4,750	77 1.6	4,700	
海外	8,248	6,919	△ 1,329 △ 16.1	11,132	10,250	△ 882 △ 7.9	10,100	
営業利益	735	279	△ 456 △ 62.1	841	380	△ 461 △ 54.8	300	
利益率	6.3	2.7		5.3	2.5		2.0	
経常利益	748	287	△ 461 △ 61.6	822	370	△ 452 △ 55.0	290	
利益率	6.4	2.8		5.2	2.5		2.0	
当期純利益	584	368	△ 217 △ 37.1	503	410	△ 93 △ 18.5	360	
利益率	5.0	3.6		3.2	2.7		2.4	
営業利益増減要因		諸経費等減 為替レート差 売上構成差等 原価低減等 試験研究費増	166 △ 368 △ 168 △ 45 △ 41		諸経費等減 為替レート差 売上構成差等 原価低減等 試験研究費増	152 △ 451 △ 56 △ 55 △ 51		
為替レート	87円/US\$ 115円/EURO	79円/US\$ 110円/EURO		86円/US\$ 114円/EURO	78円/US\$ 107円/EURO		78円/US\$ 108円/EURO	
設備投資	293	392		431	600		600	
減価償却費	366	389		498	550		550	
試験研究費	316	356		429	480		480	
有利子負債残高	3,179	3,688		3,306	3,500		3,500	
業績評価		2期ぶりの減収 2期ぶりの当期純利益減益			2期ぶりの減収 3期ぶりの当期純利益減益			
日本売上台数	118	114	△ 4 △ 3.7	158	167	9 5.6	169	
登録車	50	52	2 4.3	68	74	6 8.7	73	
軽自動車	68	62	△ 7 △ 9.5	90	93	3 3.3	96	
海外売上台数	370	318	△ 52 △ 14.0	499	474	△ 25 △ 5.0	476	
北米	227	207	△ 19 △ 8.6	307	309	2 0.6	309	
欧州	43	35	△ 8 △ 18.3	60	54	△ 5 △ 9.1	52	
中国	45	38	△ 8 △ 16.8	62	55	△ 7 △ 11.6	55	
その他	54	38	△ 17 △ 30.7	70	56	△ 14 △ 20.3	60	
連結売上台数総計	488	432	△ 56 △ 11.5	657	641	△ 16 △ 2.4	645	
生産台数合計	486	443	△ 43 △ 8.9	624	639	15 2.4	638	
日本	365	325	△ 40 △ 11.0	459	469	10 2.1	468	
米国	121	118	△ 3 △ 2.5	165	170	5 3.2	170	
売上高 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他	10,863 542 229 111	9,404 551 251 88	△ 1,460 9 22 △ 24	△ 13.4 1.6 9.7 △ 21.2	14,522 828 301 155		
営業利益 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他 消去・全社	719 △ 3 1 18 0	252 15 5 7 △ 1	△ 467 19 3 △ 11 △ 1	△ 64.9 - 310.8 △ 60.3 -	804 23 △ 1 15 1		

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（百台以下を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上台数

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販売の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

※上記の次期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。